

July 20-21, 1996 札幌から遠軽へ

札幌を 23:05 に出た夜行特急オホーツク 9 号の遠軽着は 7 月 21 日早朝 4 時 04 分。さいわい北海道の朝は早くすでに暗闇はない。一緒に降り立った他の乗客数人はいずれも駐車場にむかい各自の車を発進していってしまう。バスの時刻までたっぷり時間があるので「スーパー採集ガイド⑤北海



道東北部編（蝶研出版 1996）」の記載を参考に、朝靄がただようまだ人通りのない広い道路をゆっくりと自衛隊駐屯所方面に歩く。途中民家あちこちの庭先に純白のハマナスが緑の葉に映えて咲いている。やがて大きくはない川を渡ると左手前方に自衛隊遠軽駐屯所の検閲入口がみえ、交代の隊員が立っている。その道路反対側は一面畑地で右へと真直ぐな農道がのびていて、その農道の右手一帯は川べりの疎林まで適度に深い荒れた草原が広がっている。ムラサキの花をつけたフジクサやナンテンハギが多くイシダシジミも期待できそうな環境である。川べりの疎林樹木の葉っぱから始まって次第にヒメジョオンの咲く草原へと朝日が届きはじめるとエゾスジグロシロチョウが活動を始める。ヒメジョオンが密度濃く咲いている斜面にやや小型のシロチョウがチラチラと飛ぶので踏み込んで捕獲するとエゾヒメシロチョウ♀だ。さらに小さ目のシロチョウはエゾヒメシロチョウの♂。期待したイシダシジミはみられなかったが筆者にとっては初めての種エゾヒメシロチョウ 1 ペアをゲットして満足。駐屯所の裏手が覗ける道路沿いではカラスシジミらしき飛翔個体を目撃したがネットインできるタイミングはえられず。クサフジやナンテンハギが咲く草原では多くの新鮮なコキマダラセセリがあちこちで美しい翅表の橙色を広げて早朝の日光浴を楽しんでいる。